

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
くちなし仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R&Dセンター
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジョリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約 8㎡/缶

- ・ 灯油

<主な施工道具>

- ・ マスチックローラー※ (ジョリパットローラーJR-20 : 9インチ) 又は、ステンレスゴテ
 - ・ くちなしローラー (ジョリパットローラーJR-31 : 7インチ)
 - ・ ヘッドカットローラー (平面用 : ジョリパットローラー JR-26)
(隅 用 : ジョリパットローラー JR-27)
- ※マスチックは全国マスチック事業共同組合連合会、株式会社マルテ大塚の登録商標です。
- ・ リシンガン (口径 4~6mm) ※※
 - ・ コンプレッサー (2.2kW (3馬力) 以上 : 1台使用の場合) ※※
- ※※下塗りを吹付けで施工する場合。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

<くちなし仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	1 8 ㍓
塗 布 量	0 . 0 7 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	J Q - 2 0 0 シ-ズ [*]	2 0 k g
	清 水	1 . 5 ~ 2 ㍓
塗 布 量	0 . 6 k g / m ²	
吹 圧 力	5 ~ 7 k g f / c m ²	
使用ガン	リシガン口径φ4~6mm	
	※左官業者の場合は、ジョリパット不燃を無希釈で0.6kg/m ² となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。(下ごすり)	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

<塗装業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1.7kg/m ² となるよう、マチックローラーを上下・左右にローラーを転がし、均一に配り塗りを行う。(ムラ切り)	
<左官業者の場合>	
・ ジョリパット不燃を無希釈で1.7kg/m ² となるよう、ステンレスゴテで均一に配り塗りを行う。	

追かけ塗り(5分以内)

4. パターン付け

・ 配り塗りしたジョリパット不燃が乾燥しないうちに、くちなしローラーJR-31を上下左右に軽く転がし、細かい波模様をつける。
・ ローラーに力を加えず回転が均一になるように転がす。ローラーに付着したジョリパット不燃は、その都度きれいに取り除く。(図-1)

追かけ塗り(5分以内)

5. ヘッドカット

- ・ 灯油を浸したカットローラーJR-26、27でジョリパット不燃の凸部を軽く押さえる。

24時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>

- ・ くちなしローラーJR-31を十字に転がす。ローラーは、軽く転がし、回転するようにしてパターン付けする。(図-1)
- ・ 配り塗りは、塗布量が均一になるように行なう。(塗布量が異なると波の立ち方がバラツキ、パターンが汚くなる。)

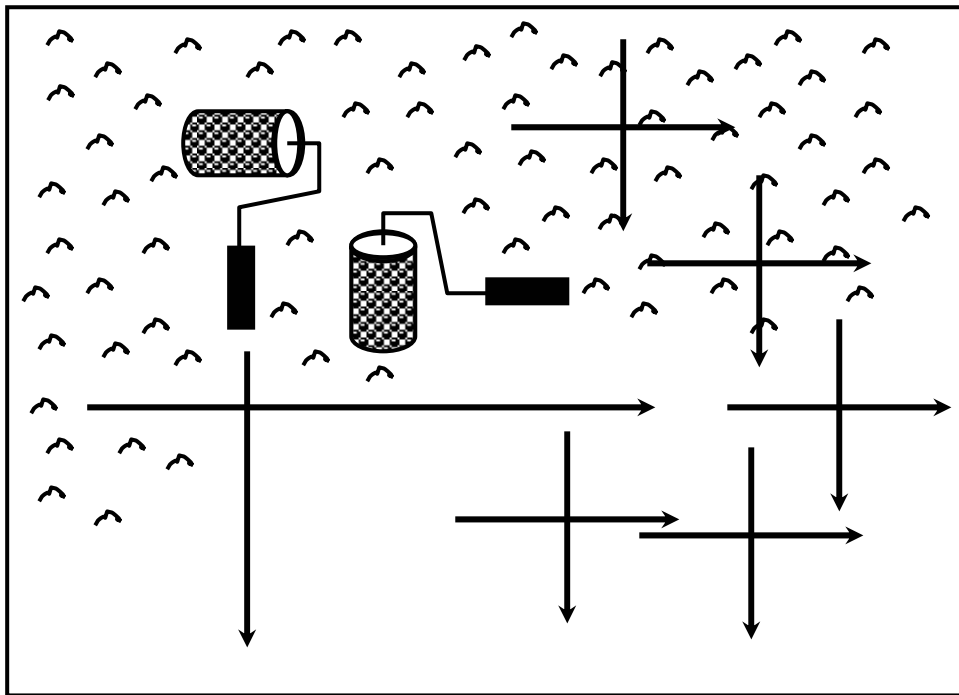
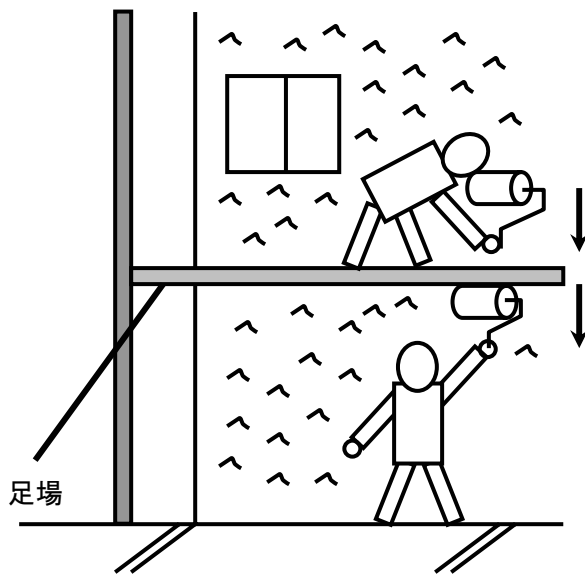


図-1



足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。ジョリパット不燃の表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

図一 2

<施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ くちなしローラーJR-31の目がジョリパット不燃で詰まらないよう、コテ板などの上でローラーを回転させながらジョリパット不燃を取り除く。(目が詰まると模様が出にくくなります。)
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以 上

※ 塗板見本は、すべてコテ配りで作成しています。施工現場においてローラーで配る場合は、塗板見本と仕上がりが若干異なりますので注意して下さい。